

中国地方災害情報報道研究会

- 平成30年7月豪雨を契機に、災害情報が住民に伝わり、適切な避難行動につなげることを目的に、災害情報に関わる者が連携し情報の共有や意見交換などに取り組む場として本研究会を設立。
- 水害、土砂災害を対象に、行政担当者、記者、アナウンサー、ニュースデスク、気象キャスターといった災害に関する情報を直接扱う方の知識の向上やスキルアップを図ることを目的として取り組みを始めた。

事務局： 気象キャスター ネットワーク
 中国地方整備局 統括防災官室、河川部、道路部

○ 開催状況（研究会はボランティアの位置付けで休日開催）

	開催年月日	主なテーマ	参加人数 (事務局含む)
第1回研究会	R2.1.25(土)	河川	28名
第2回研究会	R2.2.22(土)	砂防	32名
第3回研究会	R2.6.6(土)	河川情報、気象	32名
第4回研究会	R2.9.27(日)	気象	30名
第5回研究会	R2.11.14(土)	太田川現地見学	25名
第6回研究会	R3.1.29(土)	報道	44名
第7回研究会	R3.3.6(土)	ダム	34名
第8回研究会	R3.5.15(土)	防災情報	58名
第9回研究会	R3.7.17(土)	タイムライン	44名
第10回研究会	R3.11.6(土)	8月出水振り返り	35名
第11回研究会	R3.1.22(土)	地震・津波	50名
第12回研究会	R4.12.3(土)	報道	45名
第13回研究会	R5.3.4(土)	合同記者会見	47名
第14回研究会	R5.6.17(土)	気象・水防、合同記者会見	60名
第15回研究会	R5.11.18(土)	災害情報と報道	60名
第16回研究会	R5.12.2(土)	小田川合流点付替え事業現地勉強会	17名
第17回研究会	R6.6.22(土)	合同記者会見	65名
第18回研究会	R6.11.16(土)	出水対応振り返り、合同記者会見等	50名
第19回研究会	R7.6.7(土)	防災気象情報の改善等	50名

○ 第19回研究会の実施状況

・ 参加機関

新聞社1社、TV・ラジオ7社、気象会社2社、一般財団法人1法人、行政4機関(整備局、気象台、広島県、広島市)など 合計50名参加



WEB会議との併用による開催状況



整備局
河川部長

気象台
広域防災管理官

司会：気象キャスター
ネットワーク

意見交換の様子